

事業計画書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

公益財団法人 出羽庄内国際交流財団
鶴岡市伊勢原町8-32

令和6年度 事業計画

はじめに

本市の外国人登録者数は、令和5年12月末現在864人（前年同期比75人増）で、国別では、①ベトナム252人（同51人増）、②中国174人（増減なし）、③フィリピン118人（同18人増）、④韓国・朝鮮61人（増減なし）、⑤インドネシア37人（同16人減）などとなっています。15年前の平成20年（2008年）の901人に次ぐ人数となる中、上位を占める出身国に大きな変化が表れています。当時2/3を占めた中国は現在もなお、2番目に多い国ながら20%と割合を減らし、ベトナムやインドネシアが大きく割合を伸ばしています。別紙図1では、外国人人口の推移の詳細を表していますが、カンボジア、モンゴル、ミャンマーからの転入が顕著になっています。

■ 国籍別人口の推移(市民部市民課)												
	各年12月末現在。											(単位:人)
	平成15年	平成20年	平成25年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	対前年増減比
外国人人口総数	680	901	620	666	701	725	807	744	686	789	864	10.9%
うち中国	459	611	378	280	252	224	224	200	183	174	174	0.0%
うちベトナム	7	12	17	103	139	193	244	238	189	201	252	27.0%
うち韓国	63	99	80	75	65	65	65	63	60	61	61	0.0%
うちフィリピン	47	52	42	44	56	63	66	74	68	100	118	26.5%
うちインドネシア	11	7	17	31	28	33	40	24	24	53	37	-66.7%
うち台湾	0	0	3	16	18	23	22	21	20	27	28	5.0%
うちアメリカ	10	16	13	19	16	16	17	19	21	24	26	9.5%
その他	83	104	70	98	127	108	129	105	121	149	168	15.7%

これは、本市において経済団体・企業の積極的な関係国送り出し機関との調整や管理団体との連携による技能実習生の受け入れ、山形大学農学部等の高等教育機関の留学生の受け入れ、先端研各企業の外国籍研究者等の配置それぞれの増加が背景となっています。

そうした中、鶴岡市は令和6年2月に、多様な文化を尊重し互いに認め合う多文化共生のまちづくりの推進と国際化対応の充実を図ることを目的に、「鶴岡市国際化推進プラン」を策定しております。

(公財)出羽庄内国際交流財団として、令和6年度は、市の推進プランを理解し、施策の重要性を認識し、先の増加動向や、外国人の抱える生活課題や情勢を

踏まえ、国際感覚豊かな人材の育成や在住外国人を含む地域住民が安心して生活できる多文化共生のまちづくりに向け、①「国際交流の促進」、②「国際理解の促進」、③「多文化共生」を主要な事業項目として掲げ、事業を進めてまいります。その実現のために、国際交流団体やボランティアをはじめとする多くの住民の方々と連携、協調を図りながら各種事業を展開して参ります。

さらに、職員体制の充実を図り専門的人材を配置し、庄内地域の中核的機能とされる国際交流センターとして、行政、企業、各団体等と連携しながら相談・支援体制を充実して参ります。

1. 国際交流促進事業

(1) 交流イベント開催・支援

各国際交流関係団体、ボランティアの方々とともに、国際村を会場に各種交流イベントを実施する。

○ワールドバザール

国際交流関係団体を中心に実行委員会を立ち上げ、様々な国や地域の料理や雑貨の販売、ステージ発表を行い地域在住の外国出身者と住民との交流を促進する。

○出羽庄内国際村音楽祭

普段聴く機会の少ない民族音楽などを紹介するコンサートを開催する。

○新年を祝う会

日本語教室の指導ボランティアと学習者を中心に各種新年行事を行い、国際村を利用している在住外国人・主催各講座の講師・受講者・支援する地域住民等の交流を図る。

(2) 交流事業の実施・支援

○コロラド州中高生訪問団の受入れ

コロラド州中高生訪問団については、等を通して地域でのホームステイや学校訪問を通して相互の理解や交流を深める。(6月中旬10名の受入れ予定)

○地域留学生ホームステイ/ホームビジット事業

県内の高等教育機関に在籍する留学生を対象に参加者を募集。出羽庄内国際村に登録しているホストファミリーとのマッチングを行い、季節の行事やホームステイなどで、市民とともに体験事業、交流を図る。

○国際村開設30周年事業の取組み

○出羽庄内国際村開設30周年になることから、これまでの事業を振り返りながら、関わった多くの個人団体の方々と、節目を迎えたことを喜び、在住外国人と市内の青少年が集い交流し、それぞれの文化を理解し、認め合いながら、鶴岡市の魅力に気付く機会とするもの。

企画例 ワールドバザールへの大道芸招致、音楽祭の特別企画

庄内国際交流協会等が中心となって進める庄内国際青年祭※1や国際青年祭 in 台湾の企画、運営協力

※1 1985年の国連が提唱した国際青年年に合わせて、鶴岡市、藤島町、羽黒町の青年有志が、日本国内の留学生100人を夏に招き、ホームステイ、日本文化・武道体験、スポーツコンテスト、フォーラム、野外パーティなどを通して、東京や京都だけが日本ではないこと、自然に親しみ、普段できないホームステイで、交流をはかることを目的とする民間による草の根交流が1999年まで15回を数えた。実行委員は青年中心に、行政や企業も応援。その渦は庄内一円に広がった。

この活動は、やがて庄内国際交流協会設立につながり、在住外国人の相談や料理教室、日本語スポーツコンテスト、カルチャーや衣類の送付活動など年間を通じた活動となり、新たな継続的な活動拠点の場が必要とされ、現在の出羽庄内国際村・国際交流センター建設につながる大きな要因となった。

(3) 国際姉妹・友好都市等との交流の促進

国際姉妹都市ニューブランズウィック市(アメリカ・ニュージャージー州)、国際友好都市ラフォア市(フランス領ニューカレドニア)と本市との友好協会、それに鶴岡田川地区日中友好協会の事務局業務を担い、それぞれの協会の一層の充実とともに、市民レベルでの交流促進を図る。

※ 鶴岡・ニューブランズウィック友好協会(佐藤公力会長)

1983(昭和58)年5月 設立

鶴岡市によるニューブランズウィック公式訪問が6月下旬を想定していることから、友好協会としても派遣に関して支援協力していく。

また、令和7年3月には教育委員会が中学生の派遣を計画していることから、同様に支援協力を行う。

※ 鶴岡・ラフォア友好協会(黒井秀治会長)

1992(平成4)年10月設立

初代会長のフィリップ・ロンバルデ氏の来鶴を予定。相互の訪問団は予定なし。

※ 鶴岡田川地区日中友好協会（皆川治会長）

1982（昭和57）年12月設立
中国語講座第44期開設

2. 国際理解促進事業

（1）外国語講座の開講

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、必要に応じてオンライン講座への切り替えも想定し実施する。

○語学講座

英語、中国語、韓国語の外国語講座においては、それぞれテキスト等による語学習得に加えて、外国出身の講師と実際に交流することにより、その国や地域への理解を深める。

○フリートーク型講座

英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語のフリートーク型の講座を開講する。

○外国語短期講座

普段習う機会の少ない外国語の講座を通し、外国出身の講師と交流をきっかけとして、言語やその国・地域への興味を持つとともに理解を深める。
ドイツ語講座、ベトナム語講座

○韓国語特別講座

韓国出身の人たちと様々な活動を行い、生活の中で使う生きた韓国語を学ぶとともに、文化や習慣への理解を深める体験型学習を実施する。

○英語特別講座

英語圏出身の方を講師に迎え、生活の中で使う生きた英語を学ぶとともに、文化や習慣への理解を深める講座を実施する。

（2）国際理解講座等の開催

○ワールドコミュニケーションクラブ活動の推進

英語やいろいろな国との交流に興味がある中・高・高専生を対象に開催

○せかいの台所（料理教室）

○その他国際理解に資する事業の実施

◇フレンドシップサロンの開催

◇中学校・高校・大学の職場実習・研修等の受入れ

○庄内地区の中学1，2年生を対象の英語の暗唱大会を開催

賛助会員等の国際交流関係団体の協力を得て、国際語である英語に親しみ、言語力を高めグローバル社会の一員に資する、国際感覚豊かな青少年の育成を目指す取り組みとする。



(3) 小・中・高校生向け国際理解講座等開催支援

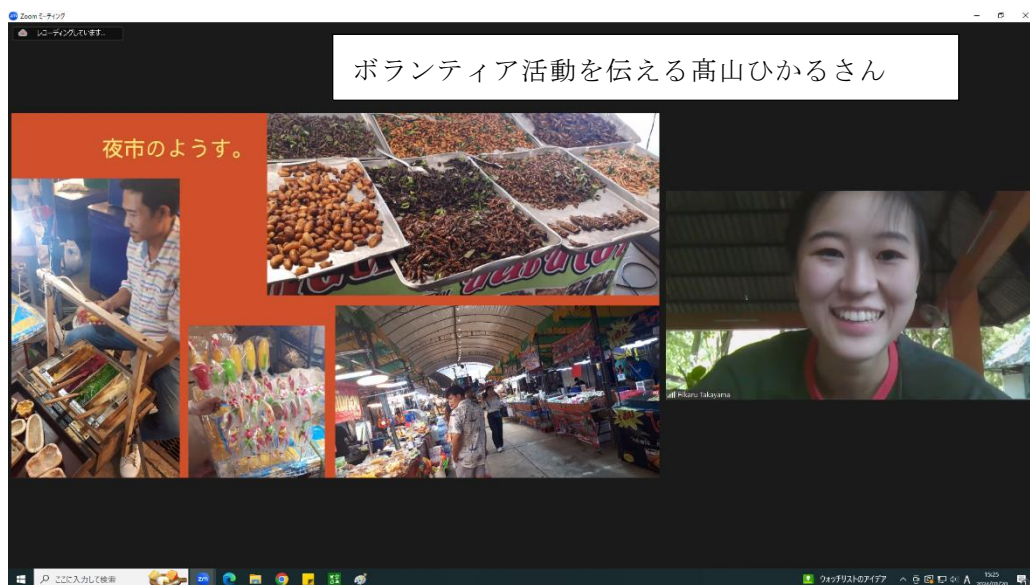
国際理解、国際交流についての各学校の授業に対して、人材、内容、情報の提供やサポートを実施する。

(4) コロラドスタディツアーの実施へ向けた情報提供

ワールドコミュニケーションクラブ会員をはじめ、地域の中学生・高校生から社会人までを対象とした訪問団を山形県の姉妹州であるアメリカ・コロラド州に派遣し、ホームステイ等を通して地域の青少年の国際感覚の育成、英語実践力の向上、国際理解を深めるための派遣事業を実施してきた。本事業については、対象者のニーズや受け入れ側の体制状況を踏まえ、情報提供や送り出しなどの実施に向けた対応をする。

(5) オンライン世界ツアーの実施

令和3年度に始まったこの事業は、鶴岡市及び当財団の事業に縁のあった方から、現地の住まい、気候風土、飲食等について紹介してもらい、疑似体験旅行しながら国際理解を深める機会とするもの



これまで17か国の協力者と共に本事業を行ってきたが、6年度は、海外での活動を行っている個人や団体との連携をより強め、主体的な情報発信や活動紹介の機会となるオンラインツアーを実施する。

3. 多文化共生促進事業

(1) 日本語教室運営支援事業

国際村日本語教室の運営支援及び日本語指導ボランティアの研修事業実施への支援を行う。

○日本語教室概要

指導者：日本語指導ボランティア50名（令和6年2月末現在）

学習者：130名

会 場：出羽庄内国際村（月曜（休館日）以外の全ての曜日）
 にこ・ふる、第三コミセン



ここでは1室で5グループに分けての日本語指導



その他：感染症拡大の場合や冬期間、会場まで通えない学習者に対しては、オンライン講座開設するなどして学習の継続に努める。

○地域行事参加研修事業

庄内地域の祭事や行事に参加し、日本文化を体験する。
(地域運動会など)



田川地区運動会に参加



○日本語スピーチコンテスト実施事業

庄内地域の国際交流関係機関・団体、日本語教室等と連携し、庄内在住の外国出身者による日本語スピーチコンテストを実施する。令和6年度は酒田市会場

○日本文化体験講座の実施

「器の会」(日本家庭料理教室)、茶道体験、書道教室

○日本語指導ボランティア研修講座の実施 (6月実施予定)

○日本語指導ボランティア スキルアップ研修会の実施 (年4回実施予定)

○やさしい日本語研修会 (主催)

交通ルールや医療機関での会話など、生活に関わる内容を扱う研修会を開催する。日本語教室受講者を中心とした在住外国出身者にも参加してもらい、より実践的な研修会を複数回開催する。

R6.3.2 開催「やさしい日本語研修会」



○やさしい日本語の普及（協力）

地域で行われる研修会など、様々な機会をとらえ、地域住民である外国出身者とのより円滑なコミュニケーションの促進のため、やさしい日本語の研修会を行う。（令和5年は、消防学校、市役所新規採用職員研修への協力）

（2）生活相談業務実施事業

○国際交流専門員の配置による相談窓口開設

いつでも携帯電話で相談受付（英語・中国語・韓国語・日本語）

○コミュニティ通訳派遣事業

必要に応じて、医療、司法、行政、教育などに関する通訳を「コミュニティ通訳」登録者から派遣し、外国出身者が言語の違いによる障壁なく、速やかに行政サービスを受けることができる体制を整える。

（令和6年2月現在 14言語 105名が登録）

○コミュニティ通訳ボランティアの養成

通訳の養成と技術向上のため、英語、中国語、韓国語の各グループによる自主勉強会等を継続して行うとともに、年数回の全体研修会を実施し翻訳やコミュニティ通訳の専門家らから技術等を学ぶ機会を設ける。生活に関わる内容だけでなく、庄内の観光に関する通訳・翻訳も勉強会の内容として取り入れる。

○災害時の通訳ボランティアの役割や運営を想定した研修会の開催



第2学区との在住外国人交えた防災訓練から

- 公的文書、用務の翻訳及び通訳
- 各分野での通訳・翻訳等への協力
 - 必要に応じた各種情報等の翻訳協力
 - 商工課主催の技能実習生を対象とした事業への通訳の派遣
- 県のワンストップサービスの機能、窓口の周知
- 外国人児童生徒への支援協力に伴う関係機関との連携強化

(3) 情報収集提供事業

- 広報「国際村だより」による情報提供
- インターネットホームページによる情報提供
 - 講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供する。
 - 国・県・市等から出される緊急情報について、「多言語」や「やさしい日本語」にして、ホームページ等で情報提供する。
- 出羽庄内国際村の多言語案内パンフレットの配布
 - 外国人相談窓口と日本語教室を案内するために作成した日本語を併記した多言語（英語・中国語・韓国語）案内パンフレットを、鶴岡市役所市民課窓口及び国際村窓口で配布する。
- 多言語生活ガイドブックの配布
 - 地域在住の外国出身住民向けに作成、生活をするうえで身近にある施設や制度、また、外国出身者として必要な情報を掲載したガイドブック及びマップを、鶴岡市役所市民課窓口及び国際村窓口等で配布する。
- 外国人に役立つ情報の提供
 - ◇観光ガイド「鶴岡」の多言語（英語・中国語・韓国語）版の提供
 - 鶴岡市観光物産課で作成した観光ガイド「鶴岡」を基本とした情報を翻訳し、ホームページで公開する。
 - ◇多言語防災ガイドブック配布・活用
 - 様々な災害に備え、防災の基礎知識について記載したガイドブックをホームページ等で公開するほか、関係機関への配布や活用を図る。
 - 対応言語は、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語
 - ◇各種情報の多言語化への取組み
 - ◇翻訳対応及び通訳者紹介等の協力
 - ◇鶴岡市観光案内所での外国語対応の協力

4. 国際村施設維持管理運営事業

出羽庄内国際村の施設管理運営については、適切な維持管理に努めながら市の指定管理者として、利用者の利便性、サービス等の向上が図られるよう業務を実施する。

施設の新たな有効活用として、主催事業を多角的に展開するほか、国際理解・多文化共生・SDGs 未来都市関連の事業に空きスペースの活用を図りながら、本施設が建設後30年経過しており、今後、施設の長寿命化を図るために、定期的な点検実績を踏まえて、段階的な整備について提案する。

5. 法人管理運営事業

(1) 公益財団法人の運営

会計処理、情報開示、評議員会・理事会の運営等、公益財団法人としての適正な運営に努める。

(2) 賛助会員の拡大

○一般入会による加入

○せかいの台所入会による加入

○各種講座等受講者に対する加入の呼びかけ

※会費等

(年会費)	個人会員	大 人	3,000円/年
		高校・大学生	2,000円/年
		小・中学生	1,000円/年
	法人会員		10,000円/年

(会員特典) ・財団広報及び講座等の情報提供
・財団主催の語学講座等の受講料1割引

別紙

図 1

鶴岡市外国人人口の推移（平成15年～令和5年）												
■ 国籍別人口の推移（市民部市民課）												
（単位：人）												
	平成15年	平成20年	平成25年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	対前年 増減比
外国人人口総数	680	901	620	666	701	725	807	744	686	789	864	10.9%
うち中国	459	611	378	280	252	224	224	200	183	174	174	0.0%
うちベトナム	7	12	17	103	139	193	244	238	189	201	252	27.0%
うち韓国	63	99	80	75	65	65	65	63	60	61	61	0.0%
うちフィリピン	47	52	42	44	56	63	66	74	68	100	118	26.5%
うちインドネシア	11	7	17	31	28	33	40	24	24	53	37	-66.7%
うち台湾	0	0	3	16	18	23	22	21	20	27	28	5.0%
うちアメリカ	10	16	13	19	16	16	17	19	21	24	26	9.5%
うちネパール	0	0	3	3	8	6	5	8	9	11	11	0.0%
うちタイ	7	17	12	12	35	17	23	13	12	22	17	-41.7%
うちカンボジア	0	1	0	13	15	18	23	19	19	15	25	52.6%
うちモンゴル	2	6	6	7	6	7	7	8	10	14	18	40.0%
うちミャンマー	2	1	1	0	0	1	0	0	1	1	14	1300.0%
その他	72	79	48	63	63	59	71	57	70	86	83	-4.3%
注1：各年12月末現在。												
参考 酒田市		521	501			480	530	490	476	474		